



# J O F ニュース

JAPAN PERA FOUNDATION  
日本オペラ振興会会報

No.29

表紙photo: 2024年藤原歌劇団  
創立90周年記念公演  
「ラ・チェネレントラ」  
作曲: G. ロッシーニ  
指揮: 鈴木恵里奈  
演出: フランチェスコ・ベッロト  
写真: 池上直哉



## 目次 • Contents

- 2 JOF お知らせ
- 3 藤原歌劇団・日本オペラ協会だより
- 4 「ピアア・デ・トロメイ」  
公演によせて(飯森範親)／あらすじ  
出演者インタビュー(伊藤 晴／迫田美帆／井出壮志朗／森口賢二)
- 6 「ファルスタッフ」対談(折江忠道&上江隼人&押川浩士)
- 8 「静と義経」公演に寄せて(田中祐子)／出演者インタビュー(砂川涼子／相楽和子)
- 9 公演レビュー／公演ラインアップ／「夕鶴」DVD販売のお知らせ
- 10 新入団会員紹介
- 11 外部出演マネージメント オペラ&コンサート情報

# information

## お得で魅力一杯のJOF (日本オペラ振興会) 鑑賞会員 選べる! <JOFプレミアムシート> 2024/25シーズン ● 新規会員大好評募集中!!

藤原歌劇団・日本オペラ協会の公演がまとめてお申し込みいただける<JOFプレミアムシート>2024/25シーズン開始しております! 全3演目4箇所を最大15%OFFでお得にご覧いただけます。

お得な<JOFプレミアムシート>をお見逃し無く!

\*どの会員も数とお申し込み期間に限りがございますので、お早めにお申込みください。  
詳細は、下記チケットセンターにお問い合わせください。

### 会員特典

- ① 最優先でお席を確保いたします
- ② 有料プログラム引換券を進呈
- ③ ゲネプロ (最終舞台稽古) \*・  
バックステージ見学へのご招待\*  
\*ゲネプロ見学は、お選びいただいた演目のみご覧いただけます。  
バックステージ見学は、会場により開催しない場合もございます。
- ④ 所属歌手との交流会 (有料) への参加 ※年1回予定
- ⑤ その他主催コンサートへご優待価格でのご案内 他

お問合せ: 日本オペラ振興会チケットセンター  
03-6721-0874 (平日10:00~18:00)

プレミアムシート特設ページで金額も簡単に確認いただけます。今すぐチェック!

日本オペラ振興会 検索

## ご寄付のお願い

## 藤原歌劇団創立90周年から未来へ オペラをつなぐご支援を——

- 寄付金の使途: 創立90周年記念公演の制作費および公演制作に係る事務局運営費
- 金額はご自由に設定いただけます。
- 法人・個人を問わず受け付けいたします。

### ■ 募集期間

2024年6月1日~2025年3月31日

弊財団は公益財団法人につき、個人・法人共に税法上の優遇措置を受けることができます。その他、90周年ご寄付限定特典がございます。詳しくはお問い合わせください。

<お問い合わせ・資料のご請求> 日本オペラ振興会総務部 TEL 03-6721-0995 FAX 03-6721-0997 E-mail support@jof.or.jp

## オペラ歌手育成部募集

### 【プロフェッショナルコース】

~オペラの舞台上で輝く人材を募集します~

修業年限 1~2年 \*実力にあったコースを受験可能

#### 募集コース

##### ●プロフェッショナルⅠコース

オペラ・アンサンブルを主体として、歌唱表現の土台作りと舞台表現を併せた更に高いステージレベルアップを図る。

##### ●プロフェッショナルⅡコース

個々の成長と個性・資質を重視し、本舞台に向けてオペラ・アンサンブルとオペラ全曲の研修を行う。

### 【アミーチコース】

~オペラ歌手の指導で楽しくオペラを学べます~

修業年限 1年 (次年度再受講可能)

半期コースもあり (4月~9月・10月~翌年3月の半年間)

#### 募集コース

●水曜日 昼・夜コース

●土曜日 昼・夜コース

#### コース内容

オペラアンサンブル (グループ授業)  
声楽個人レッスン

### 入所選抜試験要項

#### ■ 入所試験日

<第一次募集> 2025年2月24日 (月・祝) 歌唱試験・面接試験

<第二次募集> 2025年3月20日 (木・祝) 歌唱試験・面接試験

#### ■ 願書受付期間

<第一次募集> 2025年2月 1日 (土)~20日 (木) 17:00必着

<第二次募集> 2025年3月 1日 (土)~17日 (月) 17:00必着

#### ■ 試験会場

日本オペラ振興会稽古場 (神奈川県川崎市麻生区黒川76-1)

募集要項はwebサイトよりご覧ください。

<https://www.jof.or.jp/training>

\*プロフェッショナルⅡコースを除きオンライン受験が利用可能です。詳しくはQRコードから募集要項をご覧ください。



### お問合わせ先: 公益財団法人日本オペラ振興会 オペラ歌手育成部

〒215-0035 神奈川県川崎市麻生区黒川76-1 / TEL 044-819-5505 (平日 10時~17時) / FAX 044-819-5205

#### 第44期研究生

#### 新人育成オペラアンサンブル公演

●2025. 3/15 (土) D.チマローザ作曲「秘密の結婚」Il matrimonio segreto

●2025. 3/16 (日) C.モンテヴェルディ作曲「オルフェオ」L'Orfeo

2024年12月中旬 チケット発売予定 (来場指定席・後日配信視聴)

<関連イベントを随時開催します>

●オペラ演出家 奥村啓吾氏によるオペラ合唱ワークショップ

2024年12月 全3回 ※参加申込み切: 2024年11月30日

●レクチャーコンサート 2025年2月中旬 (予定)

会場: 日本オペラ振興会稽古場

★ 詳細情報は公式サイトにて随時更新中!

藤原歌劇団  
だより



藤原歌劇団総監督  
折江 忠道

正常という言葉がもはや何を基準にして良いのやら謎解きのような世の中に変貌しつつある昨今、国際的な友好関係はどうか、気候までもが縦横無尽に暴れ狂う地球レベルの反乱の中にあつて、オペラ業界も平穩無事な運営の難しい時代に直面しています。

その実態は稽古回数の削減、出演者及びスタッフの人員縮小、衣裳・美術・大道具、小道具の簡略化等々の対応策を用いてさえも、オペラ公演の実現が困難な状態に陥っている事実をお伝えしなければなりません。その背景には、助成金の半減、集客率の低下、賛助会員・寄付金の減少、諸物価の高騰など枚挙に暇がない程の原因に由りますが、この困窮極まりない状況下で我々オペラ業界は一体どうすれば良いのか？ 運営側の創意工夫を凝らす努力を割いてもなお、事態悪化の加速度は大いに悩み苦しむ処であります。

総体的に言うならば、執行上層部と制作現場担当部とが協力し、今日まで90周年の歴史あるオペラ団体としての存続が叶って来た訳ですが、今ここに至り暗雲が沸き

起こりつつある恐怖を感じずにはおられません。今、この困窮という恐るべき敵に対して、我々オペラ歌手はどんな悪条件の下でも歌い演ずる強さと心の純粹さが求められています。しかしながら、これで全てが解決する訳ではありません。この戦法はあくまでも困窮という敵が投じた兵糧攻めに対し、我々実戦部隊は籠城戦に突入しなければならぬ状況を意味しています。舞台公演を継続していくためにも、寄付及び賛助会員等のご協力を切にお願いできれば幸いです。

ともあれ現段階で最も必要なことは、チケット販売の徹底、100%の集客力の実現であり、お客様お一人おひとりのお力添えとご協力があれば、苦戦を強いられるオペラ界に一筋の光が見えてくるのです。藤原歌劇団総団員が一致団結し、力を結集してオペラの真髄に迫る良質な公演創りに励み、皆様にお届けしてこの苦境を乗り越えなければ明日の晴天を迎える事は至難の業であると、深い危機感をもってお伝えする次第です。

粉骨砕身、百折不撓。

日本オペラ協会  
だより



日本オペラ協会総監督  
郡 愛子

九月に入り少しだけ秋の気配を感じるようになりましたが、皆様方には健やかにお過ごしでしょうか。

近年は、地球温暖化による自然災害の激甚化、そして世界各地における戦争や紛争の頻発化：これらがもたらす被害そして惨状を毎日のように目にし、心が痛みます。

現在私ども日本オペラ協会は、国内のみならず海外のオペラファンの心をも動かす、メッセージ性に富んだ日本独自のオペラの制作・上演に情熱を注いでおります。

一つ目は、世界が抱える深刻な問題と向き合う、現代社会を反映したオペラです。倉本聰原作の戯曲をオペラ化し、本年2月に初演した《オペラ「ニンゲル」》に代表されますが、この作品はまさに自然環境の保護の大切さを訴えており、この先さらに各地において再演を続けてまいりたいと存じます。

そして二つ目は、「ユネスコ世界文化遺産」に登録されている〈能楽、人形浄瑠璃文楽、歌舞伎〉の日本の三大古典芸能全

てにおいて、人気演目である『静と義経』を題材としたオペラ《静と義経》です。日本オペラ協会創立60周年記念公演として2019年に上演し絶賛を浴びましたが、海外をも視野に入れてこれから再演を重ね、古典作品にしたいと存じます。西洋と日本における価値観の違いさえあれ、『愛』、『いのち』、『魂』の在り方を描くオペラという点では、ギリシャ神話をモデルとしたグルック作曲《オルフェオとエウリディーチェ》とも重なります。2025年3月8日、9日の両日、東京文化会館で再演いたしますので、どうぞお運びくださいませ。

「純粹」、「正義」、「真理」、「理想」といった言葉やその意味さえも忘れ去られるような危機感を覚える昨今ですが、芸術文化の価値や役割というものは、大切なことに気付く心を養ってくれるところにあるのではないのでしょうか…。

私ども日本オペラ協会は、ともすれば忘れられがちな大切なメッセージが込められた『オペラの制作・上演に努めてまいりたいと存じます。』

# ピーア・デ・トロメイ

G.ドニゼッティ作曲 <オペラ全2幕> ニュープロダクション

## ● 公演に寄せて



指揮  
飯森範親

藤原歌劇団創立90周年を迎えられたことを心より祝い申し上げます。このような記念公演で指揮させていただけることは、たいへん光栄なことと思っております。

今回上演いたします「ピーア・デ・トロメイ」は、ロッシーニ、ベッリーニとともに“ベルカント・オペラの巨匠”と言われているドニゼッティが絶頂期に作った傑作のひとつと言えらると思えます。ドニゼッティと言えば、「愛の妙薬」や「ランメルモールのルチア」をはじめ70作品ほどを作りましたが、現在上演されている作品はそれほど多くなく、この「ピーア・デ・トロメイ」も上演が少なく、貴重な作品で、私も今回初めて指揮いたします。

劇的なエンディングを迎えるこのオペラは、ドニゼッティの巧みなオーケストレーションによって、そのプロセスは絶妙に、またエモーショナルに描かれます。スコアを読み進めていくうちに、感動的な小説に出会ったかのような興奮をおぼえました。

今回初めて藤原歌劇団の公演に出演いたしますが、藤原歌劇団を代表し、また第一線で活躍される素晴らしい歌手の皆様と共演できるのは、私にとってこの上ない喜びです。

リハーサルはこれからですが、藤原歌劇団の皆様とずっと素晴らしいものを作り上げることができると確信しております。ぜひ日生劇場にお越しいただき、お楽しみいただけましたら幸いです。

2024年  
11/22(金)・23(土・祝)・24(日)  
14:00 ● 日生劇場

指揮…飯森範親  
演出…マルコ・ガンディーニ

ピーア…伊藤 晴/迫田美帆  
ネッロ…井出壮志朗/森口賢二  
ギーノ…藤田卓也/海道彰昭  
ロドリゴ…星 由佳子/北園彩佳  
ランベルト…龍 進一郎/大澤恒夫  
ウバルド…相沢 創/別府真也  
ピーチェ…黒川亜希子/三代川奈樹  
牢番…濱田 翔 (全日)

合唱…藤原歌劇団合唱部  
管弦楽…新日本フィルハーモニー交響楽団

## あらすじ

1260年頃のイタリア中部トスカーナ地方。ゲルフィ党(教皇派)に属するシエナのトロメイ家のピーアは、ギベリン党(皇帝派)に属するマレンマのラ・ビエトラ城の城主ネッロのもとに、政治的和平のために嫁ぐ。しかしピーアの弟のロドリゴは対立を起し、ギベリン党の牢に捕らえられている。

### 第1幕

ネッロの忠臣ウバルドは、夜中に密使が運んできた手紙を、ネッロのいとこのギーノに渡す。手紙はピーアに宛てたもので、そこには「真夜中、夫が不在の時に逢いに行く」と書かれてあった。彼女に横恋慕しているギーノは、それが男との密会の手紙だと思い込み、ピーアの不貞に嫉妬と怒りを募らせる。さらにギーノはピーアの侍女から、二度と自分の前に現れないで欲しい」というメッセージが伝えられ、彼女に拒絶された屈辱感から、戦場にいるネッロの処へ行き、ピーアの不貞を暴いて復讐しようとはかる。

一方ピーアは自室で、捕らえられている弟のことを案じている。彼女は密かに看守を買収して弟の逃亡を企てたが、何の知らせもないため、計画が失敗したのかと不安に駆られている。すると昔からトロメイ家に仕える家臣のランベルトが、ある男からピーアに渡すよう言われたと例の手紙を持って入ってくる。筆跡からその手紙が弟からのものと分かり、彼女は弟に逢えることを喜ぶ。

戦場の陣営ではネッロが、和平を破ったロドリゴを殺すことを決意するが、弟思いの妻ピーアのことを気に掛かっている。そこにギーノが現れ、ピーアの裏切りを告発する。ネッロは激しく動揺し、怒りに震える。そしてギーノは、ピーアのもとに

男がやって来る現場を自分の目で見るようネッロに促し、二人は城へと急ぐ。

地下牢にいるピーアの弟ロドリゴは、自分が死んだら彼女も命を落とすだろうと苦悩している。そこにパンと水を運んできた看守が、次に引き継ぐ見張り番を買収したと耳打ちする。ロドリゴはギベリン党と戦うために、ふたたび戦場へ戻ると言い、牢から脱出する。

自室で弟を待つピーアにランベルトは、周囲に武装した者たちが身を隠して震を仕掛けていると告げる。ロドリゴがやってきて姉弟が抱き合う中、扉を叩く音がしネッロが開けるよう叫ぶ。立ち向かう中、彼を逃がす。ネッロがならざる者を追うよう武装した家臣らに命じ、剣を抜いてピーアを殺そうとするが、ギーノが彼の剣を取り上げる。ピーアは気を失って倒れる。

緊張の空気の中、ギーノはピーアの打ちひしがれた姿に哀れみを感じ始め、ネッロはピーアの罪にもはや希望はないと語り、意識が戻ったピーアは不吉なウエールに覆われるような死の瞬間を感じる。ネッロは男をどこへ逃がしたのかとピーアに詰問するが、ひたすら死を望む彼女に、縛り上げてマレンマの牢に入れるよう命じる。

### 第2幕

ピーアの部屋から逃走したロドリゴはランベルトから、彼女が牢に閉じ込められ死を待っていると聞き、怒りに駆られる。その時敵の奇襲を告げるラッパが鳴り響き、ロドリゴとゲルフィ党の兵士たちは、ギベリン党に対する闘志を燃やす。

ギーノはピーアのもとに行き、自分の愛に屈すれば助けると申し出る。「私はネッロの妻です」と言う彼女に、男を部屋に迎え入れた「不貞な妻だ」とギーノが言い返す、それは誤解であり、あの夜逢っていたのは弟のロドリゴであるこ

とをピーアが打ち明ける。ギーノは自分だけがお前を救えることさらに迫るが、それならば死を選ぶとピーアははつきり告げ、夫への愛を貫く。そしてギーノに跪きながら、心からの願いを訴える。誠実なピーアの柔らかさに満ちた言葉に、ギーノの心は次第に慈悲に包まれていく。彼はネッロに誤解であったことを告げて、ネッロの怒りを消すことをピーアに約束し発つ。

ウバルドは、夜明けにピーアを殺すようにというネッロからの命令書を受け取る。

激しい嵐が荒れ狂う中、突然ゲルフィ党の大部の奇襲に遇ったネッロが、隠者の庵に逃げてくる。隠者ビエロはネッロに、神の意志に従ってピーアへの怒りを鎮めるよう諭す。ネッロはビエロの腕に身を投げながら、不実なピーアを憎んでいるがまだ愛していると苦悩を訴える。そこにゲルフィに襲われ瀕死の状態のギーノが現れ、あの夜ピーアのもとに来た男は彼女の弟であり、彼女を救うよう告げる。そしてギーノは、ピーアに横恋慕していたこと、嫉妬から犯した自らの罪を打ち明けて息絶える。嵐が収まる夜明けまで待つよう隠者たちは止めるが、毒殺を命じたネッロは、神に祈りながら必死にピーアのもとへ走る。

ピーアの牢獄では、水の入った杯にウバルドが毒を注ぎ、ピーアはそれを飲む。絶望の境地の中でピーアが愛する夫ネッロを呼び求めると、彼女の名を叫びながらネッロが入ってくる。続いてピーアの弟のロドリゴも兵士を連れて入ってくる。ネッロは恨みを晴らすためにピーアに毒を飲ませたと話すと、ロドリゴが彼を殺そうと襲い掛かる。ピーアは最後の力を振り絞ってロドリゴの足元に倒れ込み、ネッロの誤解であったことを訴える。そしてネッロとロドリゴが永遠に心をつなげるよう和平を懇願しながら、ピーアはネッロの腕の中で息を引き取る。

(高橋和恵)

11/22・24

●ピアア  
伊藤晴 ヲワラン

●これまで数多くのプリマ・ドンナを演じてきた伊藤さん。今回ピアア役を演じるにあたっての意気込みを教えてください。

最近の藤原歌劇団公演では、ブッチーニのオペラを歌わせていただくことが多かったのですが、久しぶりのドニゼッティのオペラです。ベルカントを代表するドニゼッティの作品と向かい合うことで、より丁寧に自分の楽器とも向かい合う時間を頂けていると感じております。常に、美しい音楽と難易度の高いテクニクと感情の動きが共存しているピアアという役は、これまで演じた役の中でも最上級に難しい役です。繊細さと力強さを兼ね備えた演唱が出来ると、鍛錬を積んでいるところで、伊藤さんの歌声を楽しみにしているお客様へ、一言メッセージをお願いします！

各役に素晴らしいアリアや重唱が与えられており、素晴らしい歌手の皆さんとのアンサンブルも聴かせどころです。美しいベルカントの旋律の中に、愛や嫉妬、希望や絶望など人間の極限の感情が描かれているドニゼッティの傑作を、どうぞ耳で、目で、肌で感じに劇場にいらしてください。

11/23

●ピアア  
追田美帆 ヲワラン

●上演機会の少ない「ピアア・デ・トロメイ」ですが、追田さんにとっての本オペラの聴きどころ・見どころを教えてください。

全編を通して音楽的に大変魅力の多い作品ですが、一番の聴きどころはやはり2幕フィナーレのアリアです。ピアアは、自分が理不尽な境遇に置かれながらも、息絶える瞬間まで純粋な愛を貫き通します。前半部分では夫への愛が美しいメロディによって描かれ、後半部

分では息も絶え絶えに、敵対する夫と弟に和解するよう訴えかける様子が、アクセントと休符によって描かれています。周りの人々を救う、ピアアの純粋な愛を丁寧に表現したいです。

●ご来場くださる皆様へ、一言メッセージをお願いします！

上演機会が少ないということもあり、私自身もこの作品に触れるのは初めてですが、楽譜を読めば読むほど美しいメロディやハーモニーが詰まっています、改めてドニゼッティの魅力を感じながら練習を重ねています。また、これからの稽古で、指揮の飯森さんや演出のガンディーニさんはじめ共演者の方々とどのような化学反応があるか楽しみなりません。ドニゼッティの作品に馴染みがある方もそうでない方もお楽しみいただけたらと思います。たくさんの方にお越しいただけたら嬉しいです。

11/22・24

●ネット  
井出壮志朗 バリトン

●今回ネット役を初めて演じられるかと思いますが、どのようなネットを演じたいと思いますか？

ネットは政略結婚でピアアを妻にしましたが、そうとは思えない程に彼女を愛している。周りに妻が裏切っていると聞いた後、妻を幽閉してしまったりもする激情型の人だと考えています。このように愛情と激情、また苦悩の間で揺れ続けるネットを描きたいと思っています。音楽にもその心情が良く表現されているので、演技と共に歌唱に繋げていけたらネットのキャラクターをより深く表現できるのではと思います。

●今回の公演を楽しみにされているお客様へ、一言メッセージをお願いします！

私自身「ピアア・デ・トロメイ」という作品への出演が決まった時には、この作品の事をよく知りませんでした。しかし、知れば知るほど「ザ・ベルカント」な音楽の美しさに引き込まれ

ていく毎日です。演出のマルコ・ガンディーニさんとは、以前出演した「フィガロの結婚」で一緒に過ごさせて頂きました。彼の演出は台詞に沿ったわかりやすく美しい演出になるので、今回はどのような作品に仕上がるのか演じ手としてもとても楽しみです。是非劇場にお越しください。

11/23

●ネット  
森口賢一 バリトン

●これまで藤原歌劇団公演の多くの作品に出演してきましたが、森口さんにとってドニゼッティのオペラの魅力を教えてください。

ドニゼッティは作曲のスタイルが確立されていて、音楽的に心地が良いのはもちろん、様式

美とも言えますか、いい意味で決まった枠の中で進んでゆく軽快さが魅力だと思います。しかしながらゆっくりなテンポでカンタービレなどところは、声の魅力をより発揮できるように描いてありますので、時には、はみ出しつつも、スタイリッシュに声の魅力を感じていただけたように頑張りたいと思います。

●ネット役を演じるにあたり、一言メッセージをお願いします！

藤原歌劇団公演で、ドニゼッティの作品には「愛の妙薬」のベルコレ役、「ドン・パスクワレ」の馬拉テスタ役で出演させて頂き、いずれも喜劇の作品でした。今回は、悲劇の作品なので、今までは違った一面を出せるように頑張りたいです。妻を愛するが故に嫉妬に狂ってしまった男をみなさまに共感して頂けますよう、歌い、演じたいと思います。



Miho SAKODA

2024年 藤原歌劇団公演「ファウスト」マルグリット役



Hare ITO

2021年 グランドオペラフェスティバルヨJapan 藤原歌劇団公演「蝶々夫人」タイトルロール



Kenji MORIGUCHI

2023年 グランドオペラフェスティバルヨJapan 藤原歌劇団公演「ホエーム」シヨナル役



Soshiro IDE

2024年 藤原歌劇団公演「ファウスト」ヴァランタン役

# FALSTAFF

G.ヴェルディ作曲 <オペラ全3幕> ニュープロダクション

## 対談

## 3人の ファルスタッフ!?

●総監督 折江忠道

●ファルスタッフ 上江隼人

(2/1、2/8)

押川浩士

(2/2)



Hiroshi OSHIKAWA

Tadamichi ORIE

Hayato KAMIE

**折江** 今年おかげ様で藤原歌劇団が創立90周年を迎え、多くの皆様に支えていただきここまで続けてこられたのだと感謝しています。

そもそも藤原歌劇団による一年間の3作品のコンセプトとして、最初の演目は若い人向けの作品、2本目は挑戦的なオペラを考えています。2024年度、90周年の初めはロッシーニの「ラ・チェネレントラ」、2作目はドニゼッティの「ピアア・デ・トロメイ」、そしていよいよ最後の演目としては、東京文化会館という大きな劇場で公演しますので、大掛かりなものを心がけています。オーソドックスでグランド・オペラと言われているもの：今年90周年記念にふさわしいヴェルディの「ファルスタッフ」を上演することにしました。

タイトルロールのファルスタッフを歌っていたら二人しかないと、上江隼人さんと押川浩士さんがどのようなファルスタッフを演じてくださるかとても楽しみにしています。

このファルスタッフに関して、何か特別な思い入れはありますか？

**上江** 藤原歌劇団の記念すべき90周年に、この役を歌わせていただけるのは本当にありがたく、光栄なことだと思っています。実は、自分自身ファルスタッフを最初に歌ったのが26歳、東京藝術大学大学院を出た翌年でした。これだけ難しい作品です。その時はもう一生懸命頑張りましたけど、色々できないことだらけで、でもそこからファルスタッフは自分の中でも大切な役になりました。実はこのオペラの中に、パトリックの役はファルスタッフとフォードと二人いて、フォードのアリアはよくコンクールなどでたくさん歌いました。この作品は、やればやる

ほどその難しさや奥深さをものすごく感じます。歌だけではなく、オーケストラも難易度が高いと思います。ヴェルディはロッシーニのような喜劇作品の面白さみたいなものを見ています。なので、本当は喜劇を作曲したかったのではないかなと思っています。このオペラを勉強していると、ヴェルディ自身の楽しみのため、最後に書いたのではないかとさえ感じさせられます。

**折江** いわゆるシビアな作品とコミカルな作品を比較すると、意外とコミカルな方が難しいかもしれないですね。「ファルスタッフ」はアンサンブルが随所にみられますが、アンサンブルは結局お互いの音が重なり合うことで物語性が出て、そこから複雑に音楽性が表現できる。だからヴェルディは最終的にアンサンブルオペラを書きたいと思っていたんじゃないかと感じます。それに適しているのは、コミカルな題材の方が人間関係も含め描きやすかったのかなと思います。「こういう曲を書きたい」というのは作曲家みんな持っていて、それが終着駅のような感じがします。プッチーニの「トゥーランドット」も、アンサンブルのあの見事さは目を見張ります。こういうところにアンサンブルオペラの醍醐味があるんじゃないかという気がしています。上江さんのファルスタッフに対する意気込みを教えてください。

**上江** 「ファルスタッフ」は学生の時に挑戦したので、約20年ぐらい経ちますが、20年間の集大成として、自分の今できるファルスタッフを演じられるように準備したいです。

歴代のファルスタッフ歌いで有名になっている人たちの音源や映像を見聴きしていると、その人の色で、コミコ(喜劇的に行くのか、セリア(シリアス)に行くのか、と相反する役作りが見られます。レナート・ブルゾンだとすごく真面目だし、ルツジェーロ・ライモンディだとまたちよつと違ったりして。その辺はすごく面白いし、いろんな可能性がある役だと思って、今からとても楽しみです。

**折江** 押川さんは、その身体からはファルスタッフのイメージがありませんが、肉襦袢(体を大きく見せる衣裳)が必要ですね。

**押川** いろんな役をこれまでやらせていただきましたが、あまり等身大の役って意外とないんです。これまで藤原歌劇団でも、女性の役、年代が違う役など多々演じてきました。このファルスタッフも見た目が違いますので、どのようにこれを演じられ

るのがすごく楽しみです。

今回ファルスタッフを勉強するため、早速家にあった楽譜を開いたところ、なんとファルスタッフの部分に線が引いてあって。全く記憶になかったのですが、1回歌っていたようです(笑)。15年くらい前に一度歌っていたようで、ほとんど覚えていないんですけども、記憶が蘇ってきて、大変だったことは少し思い出しました。

**折江** そうだったんですね！

**押川** 学生時代、バリトンと言えばヴェルディ！という風潮があり、歌いたかったのですが学生の時はうまく歌えなくて。声が軽いブッフアの役はやっていました。前回2023年に上江さんとダブルキャストで演じた「二人のフォスカリ」は、子どもを亡くして最後に残った子どもをついに島流しにしようという話です。あれもヴェルディの生涯と重なる部分がありますが、彼が実際に妻と子どもを亡くした時に書いた作品が最初のブッフア(喜劇)「1日だけの王様」ですよ。ヴェルディはオペラ・ブッフアを二つしか作曲していません。失意のどん底でこの一作目を書いて、初演は失敗をしたそうですが、そして人生の最後に、この二つ目の喜劇を書いたというのが、ヴェルディの人生をここでまた表しているんだなと思います。人生の最後にこんな風に生きたいっていうのが描かれているんじゃないかと思って。そう思うと、このファルスタッフを通してヴェルディがこの中で動き出すと面白いなと思っています。

**折江** 私が押川さんと最初に共演したのは、「ドン・バスクワレ」でしたよね。押川さんが演じたマラテスタは、冗舌で、舞台上でも動き回って…そういう役がすごく上手で。でもそれだけ



2015年 藤原歌劇団創立80周年記念公演  
「ファルスタッフ」タイトルロール(折江忠道)

ではない、腰の落ち着いた役も、その役になるのに色々試行錯誤して、最終的には自分の納得したものを舞台上で表現している人だになっていくのを、「ドン・バスクワレ」の時に感じました。私もこれまで様々な役を演じてきましたが、元々自分の中にならぬ性質の役を演じる時、想像の世界から始めます。それと全く同じことで、イメージから試行錯誤して稽古をしている間にだんだん燃えてくるのです。等身大でないものを歌う時の方があ意味面白いですよ。

音楽的には、ファルスタッフはとても難しい。なぜなら、セリフと音楽がすごくマッチしていて、それはブッチーニの作曲技法に重なる部分があり、セリフと音楽が混在している。それらを全く同等に扱っていて、そういう曲は歌うことにすごく神経を使うし、難しいんですよ。今回、全然違うタイプの歌い手がそれぞれのファルスタッフ像を演じるということは、かなりの演劇的要素で、すごく大事だと思っています。どんなオペラでもそうですが、ただ歌を歌えはいっていいもんじゃない。でもそれが私はもう楽しみでしかないですね。指揮の時任さんは、非常にきめ細かいものを持っていらっしゃる、特に女性のアンサンブルも聴きどころだし、演出の岩田さんは、常に描写が非常にはつきりしているので、創立90周年記念公演の集大成として、このプロダクションは自信を持ってお届けできると思っています。

——最後にお客様にメッセージを一言ずつお願いします！

**押川** 作品も音楽も本当に素晴らしいんですが、ファルスタッフが一生涯懸命この中で生きていて、だからこそ見てくすつと笑えるところがファルスタッフの可愛いところだなと思っています。物語の中には様々な要素が入っていて、ファルスタッフという一人の人物を中心にストーリーが入り組んでいるんです。恋愛をとって見ても、若者同士の恋、中年夫婦のかつての恋を取り戻す場面もありますし、ファルスタッフ自身も人間愛に満ちている。最後には伏線回収もちゃんとありますし、息つく暇もないくらい展開も面白いので、どうぞお楽しみに！

**上江** このオペラはすごい作品だったな、ということを変更して感じています。喜怒哀楽の全てが内包されていて、イタリア・オペラの良さが詰まっているのがこの作品だと思っています。ヴェルディの音楽が素晴らしい、メロディーが物語を消化させ

てくれているので、ぜひ劇場にお運びいただき、イタリア・オペラの真骨頂をお聴きいただければと思います。

**折江** ファルスタッフというのは、いわゆる常識や価値観に沿って生きることだけが人生ではない、自分らしさというものを一番正直に表現して、その代わり波風があつて苦しむけれど、結局それが最後に残された人間の生き様で喜びなんだということ、惜しみなく喜怒哀楽を全て織り交ぜて表現しているのが「ファルスタッフ」なのです。

ぜひともこのオペラを見に来てください！人生ってこんなんだというのがわかっていただけたら、こんなに嬉しいことはありません。出演者が多く、舞台上でくり広げられる人間模様、また色々な人の思惑がぶつかり合うのですが、私はまさしく人生の縮図がこのオペラの中にあると思います。自分の生きる人生が、この舞台の中で縮図化されて展開しているんだと客観的に見ていただければ、明日からの生きる気力になると思います。そんな人生のキーポイントを見つけに、ぜひとも劇場にお越しください。お待ちしております！

### ■ 藤原歌劇団創立90周年記念公演

## ファルスタッフ

G.ヴェルディ作曲  
＜オペラ全3幕＞  
ニュープロダクション

指揮…時任康文 演出…岩田達宗

2025年2/1(土)・2(日) 14:00 ● 東京文化会館 大ホール

2025年2/8(土) 14:00 ● 愛知県芸術劇場 大ホール

ファルスタッフ…上江隼人/押川浩士 フォード…岡 昭宏/森口賢二  
フェントン…中井亮一/清水徹太郎 アリーチェ…山口佳子/石上朋美  
ナンネッタ…光岡暁恵/米田七海  
メグ・ページ夫人…古澤真紀子/北園彩佳  
クイックリー夫人…松原広美/佐藤みほ  
カイウス…所谷直生/及川尚志 バルドルフォ…井出 司/川崎慎一郎  
ピストーラ…伊藤貴之/小野寺 光

合唱…藤原歌劇団合唱部

管弦楽…東京フィルハーモニー交響楽団(東京公演)

名古屋フィルハーモニー交響楽団(愛知公演)

# 静と義経

なかにし礼作／台本 三木稔作曲  
「オペラ全3幕」ニュープロダクション

## 公演に寄せて

●指揮 田中祐子



©sajihideyasu

「この時代の文献は多い。しかし、音の実態は学者にもほとんど知られていない。」…これは作曲家三木稔氏がこの作品を創作する際、残された言葉である。2019年3月、26年ぶりの再演のため、私は稽古場で台本／演出 なかにし礼氏の横でスコアを開き、この言葉を深く考えていた。なかにし氏の温かくも厳しいこだわりは、全て亡き三木氏への尊敬に溢れ、私たちを鼓舞し没頭させ、三木氏の想像したその「音」を、私たちもまた、想像した。幸せだった。なかにし氏が他界されたのはその約1年半後で、恐ろしくなかにし氏が「稽古場」と呼ばれる場所に現れた最後のプロダクションだったと聞いている。あれから5年、人類は大きな経験をし、日々世界は変容し続ける今、再びこの作品と向き合う幸福がおとずれた。歴史物語は変わらず存在し続けるが、我々は変わって行く。そして今度は自分達の力だけで向き合わなくてはならない。喜びであり、正直に言えば、畏敬の念で押しつぶされそう。見識と知性に溢れ、精選された言葉が折り重なるなかにし氏の台本、厳粛・厳格ながらも常に音楽家に余地を与えて下さる三木氏の譜面に、プロダクション全員で新たな息吹をもたらす機会を得られた。この上ない感謝の気持ちと共に作品と向き合いたい。



2019年創立60周年記念公演  
終演後、なかにし礼氏及び出演者一同にて

## 静：砂川涼子 ワブラン

3/8 (土)

●日本オペラでは、昨年7月公演の「夕鶴」つう役で出演された砂川さん。これまで「静と義経」は抜粋公演で静役を演じられ、今回は全幕通してとなる想いと意気込みを教えてください。これまで素晴らしい公演を重ねてきた「静と義経」。私が初めて演奏したのは抜粋でしたが、美しくドラマチックな音楽と場面に魅了され、今回は全幕を演奏する機会をいただけたことを心から嬉しく思っています。

三木稔先生の作品には、「源氏物語」にも出演させていただきましたが、オーケストラと和楽器と歌の織りなす世界観に惹き込まれます。静役の歌うメロデーには、義経への溢れる愛情、健気で想いを貫く芯のある女性を感じる事ができます。

オペラ愛が強く、全幅の信頼を寄せる指揮の田中祐子さん、作品の深い解釈と美しい舞台を創られる三浦安浩さん、振付・所作を出雲 蓉先生からご指導をいただける賢沢で夢のような環境に、身が引き締まる思いです。白拍子の舞など、華やかで美しい舞台がとても楽しみです。しっかりと準備して、お客様に作品の素晴らしさをお届けしたいと思っています。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

Kazuko SAGARA



2024年 日本オペラ協会公演  
「ニングル」ミクリ役

Ryoko SUNAKAWA



2023年 日本オペラ協会公演  
「源氏物語」六条御息所役

## 静：相楽和子 ワブラン

3/9 (日)

●「魅惑の美女はデスコッデス！」でデビューして以来、多くの日本オペラ作品を演じられている相楽さんにとって、日本オペラの魅力を教えてください。

日本オペラの真髄は、日本の伝統美と現代の感性が織りなすその独特の世界にあります。「静と義経」は、その本質を余すところなく映し出す作品です。舞台上では、静の深い愛と義経の悲劇が表現され、言葉と音楽の調和の中で鮮やかに息づき、舞台に命を吹き込みます。その情景は、時代を超え、観る者の心に静かに、そして深く染み渡ります。まるで時代を超えて観客の心に直接訴えかけるかのような、その情景の美しさは格別です。日本オペラが持つ力強さと繊細さ、そして美意識が、現代の舞台で新たな命を得る様子は、まさに日本の文化が生きたきとよみがえる瞬間です。この特別な舞台を通じて、日本オペラの奥深さと感動を、ぜひ存分に味わっていただきたいと存じます。

指揮：田中祐子 演出：三浦安浩

静：砂川涼子／相楽和子

義経：澤崎一了／海道弘昭

頼朝：須藤慎吾／村松恒矢

弁慶：江原啓之／杉尾真吾

磯の禪師：鳥木弥生／城守香

政子：川越塔子／家田紀子

大姫：芝野遥香／別府美沙子

梶原景時：持木弘／角田和弘

和田義盛：川久保博史／勝又康介

大江広元：三浦克次／中村靖

佐藤忠信：和田大典／竹内利樹

伊勢三郎：琉子健太郎／濱田翔

片岡経春：山田大智／龍進一郎

安達清経：黄木透／平尾啓

堀ノ藤次：別府真也／江原実

藤次の妻：きのしたひろこ／吉田郁恵

合唱：日本オペラ協会合唱団

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

2025年 3月8日(土)・9日(日) 14時  
東京文化会館 大ホール

# 公演レビュー



● 藤原歌劇団創立90周年記念公演  
G.ロッシーニ 作曲「ラ・チェネレントラ」  
2024.4/27・28 ● テアトロ・ジューリオ・ショウワ

## 巨巻のアンサンブルと シンデレラの物語が鮮やかに蘇る

藤原歌劇団創立90周年記念公演の幕開けにお届けしたのは、「シンデレラ」の物語でも知られているロッシーニ作曲「ラ・チェネレントラ」。今回のプロダクションは、2018年に上演し大好評だったイタリアのフランチェスコ・ベッロット演出を再演いたしました。アンジェリーナの但馬由香、山下裕賀、ドン・ラミーロの小堀勇介、荏原孝弥をはじめ、ロッシーニ作品を得意とする歌手の競演を、まるで絵本から飛び出してきたようなファンタジー溢れる世界感の演出でお届けしました。

●指揮 鈴木恵里奈 ●演出 フランチェスコ・ベッロット ●出演 アンジェリーナ：但馬由香／山下裕賀 ドン・ラミーロ：小堀勇介／荏原孝弥 ドン・マニフィコ：押川浩士／坂本伸司 ダンディーニ：岡 昭宏／和下田大典 クロリンダ：楠野麻衣／米田七海 ティーズベ：米谷朋子／高橋未来子 アリードロ：久保田真澄／東原貞彦 合唱：藤原歌劇団合唱部 管弦楽：テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ ●スタッフ 演出補：ピエーラ・ラヴァージオ 美術：アンジェロ・サーラ 衣裳：アルフレード・コロノ 照明：クラウディオ・シュミット 舞台監督：菅原多敢弘 他



## 公益財団法人日本オペラ振興会主催 公演ラインナップ (2024~25)

### Opera

■藤原歌劇団創立90周年記念公演  
NISSAY OPERA 2024

#### 「ピア・デ・トロメイ」

ニュープロダクション  
G.ドニゼッティ作曲  
指揮：飯森範親 演出：マルコ・ガンディーニ  
2024年11月22日(金)・23日(土・祝)・24日(日)  
14:00 日生劇場

■藤原歌劇団創立90周年記念公演

#### 「ファルスタッフ」ニュープロダクション

G.ヴェルディ作曲  
指揮：時任康文／演出：岩田達宗  
2025年2月1日(土)・2日(日) 14:00  
東京文化会館 大ホール  
2025年2月8日(土) 14:00  
愛知県芸術劇場 大ホール

■日本オペラ協会公演

#### 「静と義経」ニュープロダクション

なかにし 礼 作・台本／三木 稔 作曲  
指揮：田中祐子／演出：三浦安浩  
2025年3月8日(土)・9日(日) 14:00  
東京文化会館 大ホール

### Concert

#### デビューコンサート2024 vol.2

2024年10月5日(土) 14:00  
イノホール

■ 団会員企画シリーズ

#### オペラ・コンチェルタンテ「魔笛」

演奏会形式  
2024年10月17日(木) 18:30  
渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール

■ 団会員企画シリーズ

#### スプリングコンサート

2025年3月1日(土) 14:00  
ユリホール



## 日本オペラ協会公演「夕鶴」 DVD好評発売中!!



2023年7月にテアトロ・ジューリオ・ショウワで上演され、感動のスタンディングオベーションに包まれた当公演。  
大好評の限定配信につづき、皆さまからの更なるリクエストにお応えして、待望のDVD化! あの感動が今、あなたの手に。

日本オペラ協会公演「夕鶴」 指揮：柴田真郁／演出：岩田達宗

つう…佐藤美枝子 与ひょう…藤田卓也  
運ず…江原啓之 惣ど…下瀬太郎  
児童合唱 こどもの城児童合唱  
管弦楽 テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ

■収録日 2023年7月1日  
■会場 テアトロ・ジューリオ・ショウワ

DVD価格  
7,700円 (税込)



この度「夕鶴」公演におきまして、株式会社ヴォーチェ様に多大なるご尽力を賜りました。  
心より御礼申し上げます。



# Schedule & Information

## 2024年度下半期 外部出演マネージメント (2024年10月~2025年3月)

### 【2024年】

10/3(木)・6(日)・9(水)・12(土)・14(月・祝)  
新国立劇場「夢遊病の女」  
出演:伊藤 晴 会場:新国立劇場オペラパレス

10/7(月)  
東京フィルハーモニー交響楽団学校公演  
出演:富永果捺子 会場:文京区立駒本小学校

10/12(土)  
デュオ・ナチュレルコンサート  
出演:大森智子 会場:高岡市生涯学習センターホール

10/13(日)  
令和6年0歳児からのコンサート事業  
親子で楽しむ0歳児からのコンサートvol.2  
出演:大森智子 会場:高岡市生涯学習センターホール

10/13(日)  
日本橋オペラ2024 ベートーヴェン歌劇「レオノーレ」  
出演:村上敏明 会場:銀座プロッサム

10/14(月・祝)  
三河市民オペラ2023年度公演  
「アンドレア・シェニエ」の感動と興奮を再び  
ガラコンサート  
出演:小林厚子、上江隼人  
会場:ライブポートとよはし コンサートホール

10/17(木)  
カンターレ!〜ソプラノと金管楽器の歌合戦〜  
出演:大森智子 会場:大阪宝くじドリーム館

10/26(土)  
ブッチーニのオペラの醍醐味(仮)  
出演:澤崎一了、瀧田亮子 会場:松本記念音楽迎賓館

10/29(火)・30(水)  
新国立劇場 高校生のための  
オペラ鑑賞教室2024「ドン・バスクワレ」  
出演:中井亮一、上江隼人、久保田真澄  
会場:ロームシアター京都 メインホール

10/30(水)  
あなたのための音楽会  
出演:石田 滉、林 直樹 会場:調布市せんがわ劇場

11/2(土)  
0歳からのファミリーコンサート  
出演:大森智子 会場:足立区生涯学習センター

11/2(土)  
GTシンフォニックコンサートvol.4  
オペラ「魔笛」ハイライト  
出演:伊藤貴之 会場:高崎芸術劇場大劇場

11/10(日)  
《やまがたオペラフェスティバル》  
東京二期会オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」(山形公演)  
出演:藤原歌劇団合唱部  
会場:やまぎん県民ホール 大ホール

11/10(日)  
オペラ「胡蝶の楽園〜翔べ、村国の里へ!」  
出演:岡田美優、芝野遥香、吉田叶倫、丹呉由利子  
丸尾有香、原 優一、園田卓也、東原貞彦  
三浦克次、村松恒夫、和下大典  
藤原歌劇団合唱部  
会場:プリニーの市民会館(各務原市民会館)

11/12(火)  
令和6年度文化芸術による子供の育成事業  
出演:管家奈津子 会場:北上市内中学校

11/16(土)  
東京アカデミッシュカペレ モーツァルト「ハ短調ミサ」  
出演:澤崎一了 会場:ミュンザ川崎シンフォニーホール

11/20(水)・23(土・祝)・26(火)・28(木)・30(土)  
新国立劇場「ウィリアム・テル」  
出演:齊藤純子、村上敏明、山本康寛、田中大揮  
須藤慎吾  
会場:新国立劇場オペラパレス

11/23(土・祝)・24(日)・12/1(日)・7(土)・8(日)・15(日)  
びわ湖ホール・iichiko総合文化センター・札幌コン  
サートホールKitara・やまぎん県民ホール 共同制作  
びわ湖ホール オペラへの招待  
沼尻竜典作曲 歌劇「竹取物語」  
出演:砂川涼子  
会場:びわ湖ホール、iichiko総合文化センター  
札幌コンサートホールKitara、やまぎん県民ホール

12/2(月)  
デュオ・ナチュレル アウトリーチ  
出演:大森智子 会場:えぞこホール

12/5(木)  
寺子屋おとなみプレミアム2024シリーズ  
オペラ名曲講座Vol.6 「ファルスタッフ」  
出演:米田七海、中井亮一、岡 昭宏、折江忠道  
会場:J.COM浦安音楽ホール

12/5(木)  
中部フィルハーモニー交響楽団  
第95回定期演奏会 NAGOYAマチネ・シリーズ1  
出演:伊藤 晴、苗田博昭、上江隼人  
会場:愛知県芸術劇場コンサートホール

12/7(土)  
大阪フィルハーモニー協会「第九」  
出演:須藤慎吾 会場:びわ湖ホール

12/7(土)  
令和6年度 文化芸術による子供育成推進事業  
みんなARTおたがいさまライブ  
「管家奈津子メゾソプラノコンサート」  
出演:管家奈津子  
会場:北上市文化交流センターさくらホール

12/7(土)  
関西フィルハーモニー管弦楽団「第九」  
出演:伊藤 晴、中井亮一、上江隼人  
会場:ザ・シンフォニーホール

12/7(土)  
北区フレッシュ名曲コンサート「第九」  
出演:丹呉由利子 会場:北とびあ さくらホール

12/7(土)・8(日)・14(土)・15(日)  
第25回藤沢市民オペラ「魔笛」  
出演:山川真奈、渡辺 康、伊藤貴之  
会場:藤沢市民会館 大ホール

12/8(日)  
2024 姫路「第九」  
出演:村上敏明 会場:アクリエひめじ 大ホール

12/8(日)  
横須賀芸術劇場合唱団&少年少女合唱団  
「ウインター・コンサート」第九  
出演:城守 香、杉尾真吾  
会場:横須賀市文化会館 大ホール

12/13(金)・14(土)・15(日)・19(木)・20(金)・22(日)  
新日本フィルハーモニー交響楽団  
「第九」特別演奏会2024  
出演:苗田博昭  
会場:水戸芸術会館、サントリーホール  
すみだトリフォニーホール  
東京オペラシティ コンサートホール  
横浜みなとみらいホール

12/14(土)  
第46回 習志野第九演奏会  
出演:光岡曉恵、向野由美子、山本康寛、杉尾真吾  
会場:市川市文化会館 大ホール

12/14(土)  
フレッシュ名曲コンサート「第40回板橋第九演奏会」  
出演:高橋華子、岡 昭宏  
会場:板橋区立文化会館 大ホール

12/14(土)・15(日)  
「礼響の第9」~礼響名曲シリーズ  
出演:迫田美帆 会場:札幌コンサートホールKitara

12/15(日)  
Concert for KIDS ~0才からのクラシック®~  
出演:大森智子  
会場:水戸市民会館 ユームドホール(中ホール)

12/20(金)・21(土)・22(日)  
東京フィルハーモニー交響楽団  
ベートーヴェン「第九」特別演奏会2024  
出演:清水徹太郎、上江隼人  
会場:東京オペラシティコンサートホール、サントリーホール  
Bunkamuraオーチャードホール

12/21(土)  
東京労音 第134回「第九」演奏会  
出演:澤崎一了、田中大揮  
会場:東京文化会館 大ホール

12/21(土)  
ベートーヴェン「第九」年の瀬コンサート  
歓喜の饗宴 vol. 9  
出演:向野由美子、渡辺 康  
会場:ホク文化ホール 大ホール

12/22(日)  
千葉交響楽団×幕張総合オーケストラ部  
スペシャルコンサート  
出演:山口暹輝、西村 悟  
会場:南総文化ホール

12/24(火)・25(水)・26(木)  
東京都公共楽団 都響スペシャル「第九」  
出演:迫田美帆  
会場:東京文化会館 大ホール、サントリーホール

12/27(金)  
第9回オペラ歌手 紅白対抗歌合戦~声魂真闘勝負~  
出演:迫田美帆、村上敏明、岡 昭宏、上江隼人、須藤慎吾  
会場:サントリーホール

12/27(金)・28(土)  
日本フィルハーモニー交響楽団  
第九特別演奏会2024  
出演:苗田博昭  
会場:東京オペラシティコンサートホール  
横浜みなとみらいホール

12/28(土)  
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団  
第九特別演奏会2024  
出演:村上敏明 会場:東京文化会館大ホール

12/28(土)  
山形交響楽団 山形テルサの「第九」  
出演:杉尾真吾 会場:山形テルサホール

12/31(火)  
帝国ホテル「ジルベスターコンサート」  
出演:佐藤美枝子、村上敏明  
会場:帝国ホテル東京 本館3階 富士の間

### 【2025年】

1/24(金)  
仙台フィルハーモニー管弦楽団 第387回定期演奏会  
出演:伊藤 晴 会場:日立システムズホール

1/25(土)  
東京21世紀管弦楽団 ニューイヤーコンサート2025  
出演:佐藤美枝子、村上敏明  
会場:東京文化会館 大ホール

2/23(日)  
第38回国技館5000人の第九コンサート  
出演:井出社志朗 会場:両国国技館

2/23(日)  
 藝術文化の薫るまちコンサート  
 「ヴェルディ・レクイエム」  
 出演：村上敏明 会場：ひの煉瓦ホール

2/26(水)・3/1(土)・4(火)・6(木)・8(土)  
 新国立劇場「カルメン」  
 出演：伊藤 晴、田中大揮、森口賢二  
 会場：新国立劇場オペラパレス

3/2(日)  
 Concert for KIDS ~0才からのクラシック®~  
 出演：大森智子 会場：プラム・カルコア大宰府

3/5(水)  
 仙台フィルハーモニー管弦楽団  
 特別演奏会 名曲トラベル 第4回 ~シューベルト~  
 出演：西村 悟  
 会場：日立システムズホール仙台 コンサートホール

3/8(土)  
 シティフィルハーモニック管弦楽団  
 第377回定期演奏会 ヴェルディ「レクイエム」  
 出演：笛田博昭 会場：東京オペラシティ コンサートホール

3/9(日)  
 東海市制55周年記念事業 開館10周年プレ公演  
 スペシャル・ガラ・コンサート「オペラへの扉」  
 出演：上江隼人 会場：東海市芸術劇場 大ホール

3/16(日)  
 青山学院創立150周年記念演奏会「第九」  
 出演：迫田美帆  
 会場：サントリーホール

3/23(日)  
 Concert for KIDS ~0才からのクラシック®~  
 出演：大森智子 会場：中新田パッパホール

3/29(土)  
 東海市芸術劇場「コジ・ファン・トゥッテ」  
 出演：鳥木弥生、向野由美子、渡辺 康  
 会場：東海市芸術劇場 大ホール

C.L.メロソッティ作曲  
 「助けて、助けて、宇宙人がやって来た！」(全11回公演)  
 出演：中畑有美子、山邊聖美、安達さおり、別府美沙子  
 折江忠道、持木 弘、岡 昭宏、大石洋史、市川和彦  
 山内政幸、牧野真由美、松原広美、和下田大典  
 市川有一郎、龍 進一郎、岡山 肇、柴山秀明  
 安藤千尋、伊藤香織、加藤美帆、井上華那  
 芝野遙香、網永悠里、高橋裕子、藤原藍子  
 会場：福井県、京都府、新潟県、富山県、石川県

12/19(木)  
 公益財団法人岡田文化財団主催  
 藤原歌劇団公演「蝶々夫人」  
 出演：伊藤 晴、澤崎一了、谷 友博、但馬由香、所谷直生  
 泉 良平、東原貞彦、北園彩佳、坂本伸司  
 藤原歌劇団合唱部  
 会場：三重県文化会館 大ホール  
 (三重県総合文化センター)

【2025年】

1/10(金)~1/12(日)  
 につぼん丸 新春のオペラクルーズ  
 ~藤原歌劇団創立90周年記念公演「ラ・ボエーム」~  
 出演：伊藤 晴、澤崎一了、別府美沙子、井出志志朗  
 市川有一郎、久保真澄、折江忠道、高橋裕子  
 水野彰子、藤原歌劇団合唱部  
 会場：につぼん丸 ドルフィンホール

受託オペラ

【2024年】

9/24(火)・26(木)・27(金)・30(月)  
 10/2(水)~4(金)・7(月)・15(火)・16(水)  
 文化庁令和6年度  
 舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)

新入団・会員 紹介 (\*=準団員・準会員より)

<p>藤原歌劇団 正団員</p> <p>オーディションによる</p> <p>えんどう さち 遠藤紗千(S)</p> <p>みやざき ともなが 宮崎智永(T)</p> <p>推薦による</p> <p>おおやまだいすけ 大山大輔(Br)</p>	<p>藤原歌劇団 正団員</p> <p>オーディションによる</p> <p>かんだ さおり 神田沙央理(S)</p> <p>きん せいへ 金聖恵(S)</p> <p>しん びんほ 全炳浩(T)</p> <p>推薦による</p> <p>いわがみ えりか 岩上恵理加(Pf)</p>
<p>日本オペラ協会 正会員</p> <p>オーディションによる</p> <p>いのうえ かな 井上華那(S)*</p> <p>ながさわ みゆき 長澤みゆき(S)*</p> <p>みわ へい 三輪 英(S)*</p> <p>推薦による</p> <p>くぼた まさみ 久保田真澄(Br)</p> <p>すずかわい けいじろう 鈴川慶二郎(Br)*</p> <p>すどうしんご 須藤慎吾(Br)</p>	<p>藤原歌劇団 準団員</p> <p>オーディションによる</p> <p>あらかわ なな 荒川菜捺(S)</p> <p>おに き まい 鬼木麻衣(S)</p> <p>おおしま まりあ 大島真梨亜(Ms)</p> <p>つしま ひろや 對馬紘也(T)</p> <p>育成部より</p> <p>いしおか かおり 石岡華織(S)</p> <p>てらだ まみ 寺田真美(S)</p> <p>ながた りさ 永田梨紗(S)</p> <p>なかやま みわ 中山美和(S)</p>
<p>日本オペラ協会 準会員</p> <p>オーディションによる</p> <p>まつばら なみ 松原奈美(S)</p> <p>まつむら えみ 松村映見(S)</p> <p>わきやしき みり 脇屋敷美里(S)</p> <p>わう じょんき 黄在麒(Br)</p>	<p>藤原歌劇団 準団員</p> <p>推薦による</p> <p>とみなが かなこ 富水果捺子(S)</p> <p>いしだ 隼 石田 隼(Ms)</p> <p>かわさき えり 河崎 恵(Pf)</p>
<p>日本オペラ協会 準会員</p> <p>育成部より</p> <p>つおかわ なみ 恒川なみ(S)</p> <p>むらい あずさ 村井あずさ(S)</p>	



# J O F ニュース

THE JAPAN OPERA FOUNDATION  
日本オペラ振興会会報

## No.29

表紙photo：  
2024年日本オペラ協会公演  
「ニンゲル」  
倉本聰 原作 / 渡辺俊幸 作曲  
吉田雄生 オペラ脚本  
指揮：田中祐子 演出：岩田達宗  
写真：池上直哉

J O F ニュース 日本オペラ振興会会報 No.29

発行：2024年9月30日

発行元：公益財団法人日本オペラ振興会

〒151-0061 東京都渋谷区初台2-5-8 西新宿豊国ビル102



## 日本オペラ振興会 公式ホームページで 随時情報更新中！

いますぐ！

日本オペラ振興会 検索

- ★藤原歌劇団・日本オペラ協会のオペラ公演はもちろん、主催コンサートや協力公演の情報も公開！
- ★お得なセット券〈プレミアムシート〉も簡単にご入会できます！
- ★JOF Blog 舞台裏レポートで、舞台のウラ側や稽古風景、育成部の授業風景などをご紹介！
- ★オペラ鑑賞の「いろは」や、知らなかったオペラのホントを大公開！

### 公演チケットはオンラインチケットが便利！

24時間、どこにいても  
座席指定で公演チケットが購入可能です！  
オンラインチケットはこちらから →



### 公益財団法人日本オペラ振興会

本部：〒151-0061 東京都渋谷区初台2-5-8 西新宿豊国ビル102

[事業制作部・企画部・広報マーケティング部・総務部・団員担当] 03-6721-0995 [チケットセンター] 03-6721-0874 (平日10:00~18:00)

黒川事務所：〒215-0035 神奈川県川崎市麻生区黒川76-1 [育成部] 044-819-5505